



東京アニメーションカレッジ専門学校 専門課程

2019 年度 財務関係報告書

貸借対照表

令和2年3月31日

(単位:円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	3,781,689,200
土地 建物	3,764,492,165
その他	17,197,035
流動資産	1,024,248,906
現金預金	1,023,992,106
その他	256,800
資産の部合計	4,805,938,106
負債の部	
科 目	金 額
固定負債	24,484,000
長期借入金	24,484,000
流動負債	447,389,932
未払金	32,629,077
その他	414,760,855
負債の部合計	471,873,932
純資産の部	
科 目	金 額
基本金	5,319,609,815
繰越収支差額	△ 985,545,641
純資産の部合計	4,334,064,174
科 目	金 額
負債及び純資産の部合計	4,805,938,106

事業活動収支計算書

(自)平成31年4月 1日

(至)令和 2年3月31日

(単位:円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	決 算
		学生生徒等納付金	(408,318,500)
		手数料	(3,917,700)
		経常費等補助金	(850,000)
		付随事業収入	(238,449)
		雑収入	(259,150)
		教育活動収入計	(413,583,799)
教育活動収支	事業活動支出の部	科 目	決 算
		人件費	(197,393,636)
		教育研究経費	(66,216,650)
		管理経費	(74,483,980)
		教育活動支出計	(338,094,266)
		教育活動収支差額	75,489,533

教育活動外収支	収事業の活動部	科 目	決 算
		受取利息・配当金	(253,837)
		その他の教育活動外収入	(0)
		教育活動外収入計	253,837
教育活動外収支	支事業の活動部	科 目	決 算
		借入金等利息	(340,040)
		その他の教育活動外支出	(0)
		教育活動外支出計	340,040
		教育活動外収支差額	△ 86,203
		経常収支差額	75,403,330

特別収支	収事業の活動部	科 目	決 算
		資産売却差額	(0)
		その他の特別収入	(0)
		特別収入計	0
特別収支	支事業の活動部	科 目	決 算
		資産処分差額	(108)
		その他の特別支出	(0)
		特別支出計	108
		特別収支差額	△ 108

基本金組入前当年度収支差額	75,403,222
基本金組入額合計	△ 70,382,298
当年度収支差額	5,020,924
前年度繰越収支差額	△ 998,622,769
基本金取崩額	8,056,204
翌年度繰越収支差額	△ 985,545,641

(参考)

事業活動収入計	413,837,636
事業活動支出計	338,434,414

財産目録

令和2年3月31日

I 資産総額	4,805,938,106 円
内 基本財産	3,781,689,200 円
運用財産	1,024,248,906 円
II 負債総額	471,873,932 円
III 正味財産	4,334,064,174 円

区分	金額
資産額	
1 基本財産	
土地	1,143.00 m ² 3,165,913,000 円
建物	3,376.51 m ² 598,579,165 円
教育研究用備品	7,636,575 円
その他	9,560,460 円
2 運用財産	
現金預金	1,023,992,106 円
その他	256,800 円
資産総額	4,805,938,106 円
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	24,484,000 円
2 流動負債	
その他	447,389,932 円
負債総額	471,873,932 円
正味財産(資産総額－負債総額)	4,334,064,174 円

事業報告書

1. 法人の概要

(1) 設置する学校

東京アニメーションカレッジ専門学校を設置する。

(2) 設置する学校の学科

《専門課程》

【昼間部】

- 総合学科
- アニメーション学科
- マンガ・イラスト学科
- 声優学科

(3) 入学定員と入学者数の状況（平成31年4月1日現在）

課程	学科	修業年限	入学定員	入学者数	備考
文化・教養 専門課程	総合学科	3年	26名	24名	昼間
	アニメーション学科	2年	50名	51名	
	マンガ・イラスト学科		36名	44名	
	声優学科		50名	40名	
合 計			162名	159名	

(4) 教職員の状況

区分	専任	兼任	計
校長	1	0	1
教員	28	38	66
助手	0	0	0
事務職員	12	0	12
校医	0	1	1
計	41	39	80

(5) 役員（平成 31 年 3 月 31 日現在）

理事長 鈴木 雅文
理 事 石角 公宏
理 事 田中 道信（学校長）
理 事 高砂 吉孝
理 事 阪田 好伸
理 事 城 将敏
監 事 川中 義裕
監 事 濱口 佳工

2. 事業の概要

学校を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの発生により社会全体が地球規模で大きな変化を強いられている状況となっております。産業構造のみならず日々の生活の基本、生活様式まで人類が経験したことの無い大きな断絶の時代を迎えています。

教育産業においてもこれまでの授業形態が組めないことや、留学生の入国が困難なことなど我々の経験したことの無い変化となっております。今後はこの流れの変化にいかに柔軟に素早く対応して生き残るかが最大のテーマになります。

コンピュータよりアニメーションへ特化し 14 年を経て多くの卒業生を輩出し、着実に業界とそのネットワークを広げてまいりました。その成果が業界にて確実に実を結び、アニメーション、マンガ、声優、全ての分野で卒業生の活躍を聞くようになりました。

在学中からアニメ業界に深く関わる産学協同プロジェクトにも力を入れ、よ

り実践的な授業内容へと移行してきています。また社会的貢献の一環として近隣地域でのボランティア活動など社会人としての育成教育にも力を入れております。今年度より国の制度として出来た、「高等教育の修学支援新制度」に対しても申請を行い、認定校となりました。

3. 財務の概要等

財務の概要につきましては、貸借対照表・事業活動収支計算書・財産目録に記載のとおりであります。概要につきましてご説明しますと事業活動収支計算書では、学生募集が前年に比べプラスとなったことに伴い、収入では学生生徒等納付金が4億8百万、教育活動収入が4億13百万円となりました。一方、支出につきましては、少人数による充実したクラス編成を引き続き実施をし、より専門的な講師陣を配置するほか、学生用の教研経費を中心に支出し、設備の充実に努めながらも教育活動支出の合計は3億38百万円となりました。従いまして経常収支差額は75百万円となりました。

また、貸借対照表では、建物が5億98百万円、教育研究用機器備品7百万円となり、借入金につきましても、借入残高は24百万（前年比マイナス85百万円）となりました。また、期末現在の純資産残高は昨年対比75百万増加の43億34百万円となりました。

翌年度につきましては、学生生徒等納付金が学生数の増加から、教育活動収入は4億50百万円と増加を見込んでおります。

今後教職員一丸となり、教育活動収入増加に努力すると共に、教育活動支出面におきましては引き続き合理的に支出し、学校の安定的な基礎維持のため一定部分の収益確保を目指して健全な学園運営を行ってまいりたいと存じます。

4. むすび

現状少子化現象、社会構造の大きな変化などこれまでに我々が経験した事の無い厳しい環境となっておりますが、我々の使命である人を育て、末永く学校運営を行っていく事こそ最重要課題と考えております。

CATグループの専門学校として、充実した学校教育を行う一方、業界の希求する次世代のクリエイティブな人材を育成することを目的とするエンタテインメントの専門学校グループとして事業展開してまいりたいと考えております。

学生及び保護者並びに債権者の皆様におかれましては、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以 上